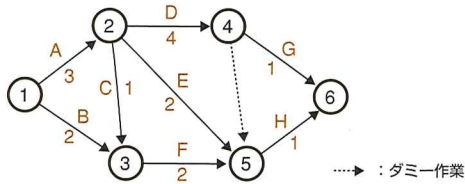


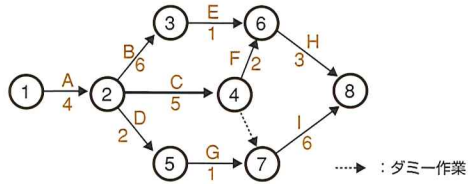
第5節の確認問題

次の文章は正しい文章か、正しい場合は○、誤っている場合は×で答えてみよう！

- 1 PERT図を用いてシステム開発プロジェクトの実施計画を作成し、クリティカルパスを求めた。クリティカルパスによって、システムの品質上、最も注意すべき作業を把握することができる。
- 2 次のアローダイアグラムで表されるプロジェクトにおいて、作業Hの最早開始日は6日である。なお、矢線上の記号は作業名、数字は所要日数を示す。



- 3 次のアローダイアグラムで表されるプロジェクトにおいて、作業B, F, Iだけが短縮可能であるが、プロジェクトの所要日数を1日短縮するためには、作業Iを1日短縮する必要がある。



- 4 システム開発の見積方法のひとつであるファンクションポイント法とは、過去に経験した類似のシステムについてのデータを基にして、システムの相違点を調べ、同じ部分については過去のデータを使い、異なった部分は経験から規模と工数を見積もる方法である。
- 5 回線の工事費、加入電話回線の基本料金、磁気ディスク装置の据付調整費、ソフトウェアの購入費のうち、定常時のシステム運用に伴って発生する定常コストとして管理するものは、加入電話回線の基本料金である。



[答]

問題番号	正誤	解説	テーマ
1	×	クリティカルパスによって把握できるのは、プロジェクト全体の遅れに直結する作業です。	074_075
2	×	作業の最早開始日(最早開始時刻)とは、その作業を開始できる最も早い時刻のことであり、その作業が開始される結合点の最早結合点時刻と一致します。そこで、各結合点における最早結合点時刻を求めると下図のようになるため、作業Hの最早開始日は7日となります。 	074_075
3	○	各結合点における最早結合点時刻と最遅結合点時刻から、クリティカルパスは「①→②→④→⑦→⑧」とわかります。したがって、このクリティカルパス上の作業A, C, Iのいずれかの作業を1日短縮すれば、プロジェクトの所要日数を1日短縮することができます。 	074_075
4	×	ファンクションポイント法とは、システムの外部仕様の情報からそのシステムの機能の量を算定し、それを基にシステムの開発規模を見積もる方法です。なお、説明されているのは類似法と呼ばれる見積り方法です。	076
5	○	正しい文章です。なお、回線の工事費、磁気ディスク装置の据付調整費、ソフトウェアの購入費は初期コストとして管理されます。	077